

まずは、当会ホームページ掲載の「令和5年度静岡県介護支援専門員【専門研修課程Ⅱ】【更新研修B2】【更新研修B1（後期）】演習事例について」（以下「演習事例について」）を熟読してください。

●演習事例提出の目的について		
<p>1、よりケアマネジメント能力の向上につながるような自己の実践を振り返る</p> <p>2、類似した別の事例や状況に対応する力を身につける</p> <p>3、地域の課題の抽出や解決に向けた取り組みにつなげる</p> <p>演習では、ケアマネジメントを振り返るために作成した事例を用い、<u>7つの事例テーマについて「事例検討（その事例について掘り下げ、事例についての問題点と解決策を考察するもの）」ではなく、ケアマネジメントの「事例研究（その事例をとおして、ケアマネジャーの問題や共通の課題を考察するもの）」を行います。</u></p> <p>各自の事例を通して、ケアマネジャーそれぞれの支援方法や、ケアマネジャー共通の課題について研究することで、状況に応じた適切なケアマネジメントの実践ができる知識や技術を修得します。</p>		
1. 事例テーマについて		
<p>1事例に7つのテーマが含まれるものは対象外ですが、1事例に2～3テーマが含まれるものは対象となります。ただし、テーマごとに関わった時期が異なる場合は、そのテーマに関係するニーズや目標、支援が位置付けられていることを確認した上で様式を作成、用意してください。</p> <p>なお、演習ではそれぞれのテーマを独立したものとして扱うため、それぞれの書類の提出にあたっては、必ずそれらのテーマが網羅されていることを確認してください。</p>		
Q1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7つの事例テーマがない。」</li> <li>・「現在担当している（していた）ケースの中では、該当するテーマがない。」</li> <li>・「現在ケアマネの仕事に就いていないため、手元に事例や情報がない。」</li> </ul>	<p>① 事業所内で共有している事例を使用する。 （本人の実践の振り返りという研修の趣旨により合うと思います）</p> <p>② 過去(※) に該当するテーマに沿った支援を行った事例で作成する。（※過去3年以内を目安とする）</p> <p>③ 同事業所、同地区のケアマネより該当する事例を借りる。 その場合、自分の事例として捉え（自分自身が支援を行った場合を想定し）、発表できるよう様式を作成し直す必要があります。 なお、<u>事例を借りた場合は、様式A-9とA-10の作成・提出は免除されます。</u></p> <p><u>*様式A-0の「チェック欄」及びA-1「備考欄」のそれぞれに「借事例」と記入してください。</u></p> <p>(注意！) 事例を借りる場合は、個人情報の取り扱いにはくれぐれも注意してください。</p>
Q1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「事例テーマがよくわからない」</li> </ul>	<p>当会ホームページ掲載「演習事例について」の＜事例テーマキーワード一覧表＞を参照してください。</p>
Q1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「過去の事例を提出してもよいか。」</li> </ul>	<p>現在、継続して関わっているケースが望ましいですが、ない場合は過去の事例（終了ケース）でも結構です。その場合、過去3年以内を目安としてください。</p>
Q1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7つの事例テーマを網羅した1事例のみの提出でもよいか？」</li> </ul>	<p>上記の記載とおりです。「1事例に7つの事例テーマが含まれる」という事例は対象外です。</p>
Q1-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これまで地域包括支援センターのみに従事。予防プランしか作成していない。」</li> </ul>	<p><u>「介護予防プランのみを作成されている方」は、ご自分の担当している介護予防のケースを要介護状態とみなし、居宅介護サービス計画（第1表から第5表）を作成してください。</u></p>

2. 事例テーマ「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」について		
Q2-1	・「介護ベッドの利用がある」「杖のレンタルをしている」等の事例はこのテーマに当てはまるか？（居宅）	リハビリテーション及び福祉用具の活用というテーマであることから、単に「ベッドを借りている、杖を借りている」というだけではテーマを満たさないこともあると思います。「医師や専門職から自立支援のための環境整備等リハビリ的な助言や指導がある」、「ADL等の改善の手段として福祉用具を導入し、その評価が行われている」などの内容が好ましいと考えます。
Q2-2	・「施設ではリハビリを行っていない。どのような事例を出せばよいか？」（施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「機能訓練加算」をとっている→自立支援のための機能訓練を行っているので内容等を記載されている事例</li> <li>・「機能訓練加算」をとっていない→自立支援のための取り組みが計画の中に入っている事例</li> <li>・自立支援のための排せつ誘導（時間誘導）・ポータブルトイレの利用・日中の生活リズムと整えるための視点を持っている事例。</li> <li>・拘縮予防・筋力低下予防・本人らしさの追求のための楽しみの活動などで支援している事例。</li> <li>・施設により専門職（PT, OT）がいない場合が多いため、「生活リハビリ」でもよい。</li> </ul> ただし、施設計画書の中に位置付けられており、課題、目標、誰がどのように行うのかを記載している事例。
3. 事例テーマ「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」について		
<p>この研修においては、看取りの時期に向けての支援事例になると思います。最期を迎える時期がある程度、医療者によって想定をされている状況においての支援事例のケアプランということになると思います。看取りを支援する中で、医療系の資源が関わった事例が望ましいですが、医療系以外の資源（介護サービスなど）の利用が看取りにおいて必要であったという学びにつながれば、その事例でも提出可能です。</p>		
Q3-1	・「看取りの事例がない」	<p>① 「本人、家族に最期についての意向」を確認しているか？十分でなくても、確認できている事例を提出してください。</p> <p>「看取り等」となっていますが、意向の部分で、「看取り、もしくは少し先にある終末期に向けてすすむ時期に、どのようにすごしたいのか、どのような最期を迎えようと考えているか」などを聞きとれていけばよいと思います。</p> <p>「看護サービス」とは、「終末期へ向かう期間、最期のとき、あるいは亡くなったときに、どこで・だれが・どんな医療サービスを使って経過観察、死亡診断、エンゼルケア、グリーフケア等を行うのか」により医療・看護サービスの介入が必須となりますが、訪問看護に限定する必要はありません。</p> <p>② 医療・看護サービス利用中の方を看取ると想定し、作成してください。</p> <p>③ 同事業所、同地区のケアマネより該当するケースを借りてください。</p>
Q3-2	・「地域包括職員でターミナルの事例に関わったことがない。」	Q-1-1を参照ください。

Q3-3	<p>・「看取りプランの提出は可能か？」  ※「看取りプラン」とは…「看取り加算」を算定する施設が使用している看取り支援の記録の様式のこと。</p>	<p>「看取りプラン」の内容を、様式A-6～8（サービス計画書1～3表）に写し提出してください。</p>
Q3-4	<p>・「区分変更中に急性期で亡くなったケース。その場合はどちら（変更前か変更後）の主治医意見書の内容を様式A-4に記入したらよいか？」</p>	<p>区分変更中で、認定調査まで終了していれば、変更前と後の調査票と意見書が揃います。支援の経過にあわせて、アセスメントとプランの作成時に、情報収集・リスクの根拠として使用した情報の提供元である意見書がどちらのものかによると思います。  また、区分変更後の認定が出た時の意見書を基に情報収集し、アセスメントしプラン作成したのであれば、後のものになります。</p>
<p>4. 事例テーマ「入退院時等における医療との連携に関する事例」</p>		
Q4-1	<p>・「施設ケアマネであるが、入退院の事例がない。」</p>	<p>病院から施設に入所した際に、病院から情報を得た事例などを取り上げてください。</p>
<p>5. 事例テーマ「家族への支援の視点が必要な事例」について</p>		
Q5-1	<p>・「入所後、家族との関わりがなく、支援をしている事例がない。」（施設）</p>	<p>介護保険施設や認知症対応型共同生活介護など多くの入所系サービスでは、運営基準において『家族との連携』が掲げられています。したがって、運営基準を遵守する形でサービスを提供している場合は、家族との接点を見出すことができると思います。そうした中で、「家族に対して、援助的なかわりを行っている例」を取り上げ、家族支援という形で事例をまとめると良いと思います。</p>
<p>6. 事例テーマ「状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例」</p>		
<p>「状態に応じた多様なサービス」では、小規模多機能型居宅介護等や定期巡回型サービスを活用している事例や、利用者の状況から施設サービスを利用する、又は施設入所から在宅サービス（地域密着型サービス）を利用した事例などに着目してください。</p>		
Q6-1	<p>・「どのような事例を出せばよいかわからない」（居宅）</p>	<p>演習の目的は、介護保険で提供される地域密着型サービス等の活用に係る知識及びケアマネジメント手法を修得することです。まずは、優先的に各自が担当している地域密着型サービスを活用している事例を提出してください。</p>

Q6-2	<p>・「地域密着型サービスを計画したことがありません。」</p>	<p>多様なサービス事業者と情報を共有し、連携した取り組みがプランに位置付けられている居宅サービス計画書を提出してください。</p> <p>【ポイント】</p> <p>① 小規模多機能型居宅介護等との連携（介護支援専門員の交代）</p> <p>② 保健医療サービス（訪問診療、訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導、栄養指導等）事業所等との連携 例）排便コントロール、食事制限、水分制限、血圧測定など体調管理について、多様な事業者で情報を共有し、連携した取り組みがある事例</p> <p>③ 介護保険施設等との連携（入所・退所）</p> <p>④ 関係機関との連携（保険者、保健所等）</p> <p>⑤ 多職種によるアセスメントを反映</p>
Q6-3 (1)	<p>・「どのような事例を出せばよいかわからない」 (施設)</p>	<p>Q6-2の【ポイント】を参照ください。特に施設サービスの場合、課題の解決だけでなく、『多職種連携により事故防止に努めた事例』や『身体拘束廃止に取り組んだ事例』などでも結構です。</p>
Q6-3 (2)	<p>・「どのような事例を出せばよいかわからない」 (グループホーム・小規模多機能型居宅介護等)</p>	<p>Q6-3 (1) を参照してください。</p> <p>なお、運営基準の解釈には「地域の特性や利用者の生活環境に応じたレクリエーション、行事、園芸、農作業などの利用者の趣味、又は嗜好に応じた活動等が確保される」と記載されています。このことについて、家族・医療・地域・その他サービスと連携し、事業所内だけで完結する支援をするのではなく、『本人が地域住民やインフォーマルサービスの協力を得ながら自立支援に取り組んだ事例』でも結構です。</p>
7. 事例様式について		
<p>○令和3年3月31日発出の「介護保険最新情報vol.958（「介護サービス計画書の様式及び課題分析標準項目の提示について」の一部改正について）（別紙）」に基づき、新様式にて掲載しています。 <b>提出は、旧様式でも構いません。</b></p> <p>○「指定様式」と定められている様式については、ホームページに掲載の指定様式で作成してください。</p> <p>○「指定様式」以外の様式については、事業所でお使いの様式を提出してください。（ただし、標準様式と同内容の場合に限ります）</p> <p>○各様式の記入方法については、ホームページの「提出事例様式」に「記入例」を掲載していますので、ご参照ください。</p>		
Q7-1	<p>・A-1「事例概要の書き方が分からない。」</p>	<p>テーマごとにスポットを当てた書き方をすることが好ましいと思います。</p>
A-4「主治医から得られた情報」		
Q7-2	<p>・「主治医意見書がないため、作成できない」</p>	<p>「主治医意見書」がない場合は、アセスメント等において把握した医療情報を中心に、主治医からの口頭等でのコメントなども含めた情報を様式A-4「主治医から得られた情報」にまとめて記入してください。</p>

A-5 課題整理総括表		
Q7-3	・「課題整理総括表の書き方がわからない。」	検索エンジンのホームページにて「介護保険最新情報V o l.379」を検索するか、 <a href="http://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail?gno=1920&amp;ct=020060090">http://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail?gno=1920&amp;ct=020060090</a> こちらのサイトの「本文」をご参照ください。
A-施7 「施設サービス計画書（2）」		
Q7-4	・「どのように記入したらよいか。」	施設サービス計画の標準様式には、サービス内容／担当者／頻度／期間を記載する様式となっていますので、具体的なサービス内容を書き、その担当者として、介護職員、看護師、本人、管理栄養士、医師、家族、介護支援専門員等の職種や、早番職員・遅番職員などと記入します。 なお、サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、外部サービス利用型特定施設の事例を取り上げる場合にあっては、居宅サービス計画書第2表を用いて、サービス種別のところには、事業種別を書き、それが介護保険給付内である場合は○を付すようにしてください。
A-施8 「週間サービス計画表」		
Q7-5	・「第3表・週間サービス計画表と第4表・日課表は選択が可能か。」	施設により運用が異なるため、どちらでもかまいません。
A-10 「評価表」		
Q7-6	・「評価表の書き方がわからない。」	検索エンジンのホームページにて「介護保険最新情報V o l.379」を検索するか、 <a href="http://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail?gno=1920&amp;ct=020060090">http://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou/detail?gno=1920&amp;ct=020060090</a> こちらのサイトの「本文」をご参照ください。
Q7-7	・「評価時期はいつがよいのか？」	・短期目標更新時期に評価を行ってください。 ・短期目標更新時期ではない場合は、現時点で評価し、作成してください。
Q7-8	・「評価はモニタリング表に記載している。モニタリング表の提出でもよいか？」	モニタリング表の提出は、認められません。評価部分を指定様式A-10に転記し、提出してください。
Q7-9	・「支援経過の中に、評価も含まれているが…」	支援経過の中の評価部分を指定様式A-10に転記し、提出してください。

Q7-10	・「サービス種別」と「※1」はどのように記入したらよいか？(施設系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス種別・・・サービス内容を行っている援助者を記入。（例：介護職員、看護師、本人、管理栄養士、医師、家族、介護支援専門員等）</li> <li>・「※1」・・・「当該サービスを行う事業所」＝施設の種別を記入する。(例：介護保険施設、特定施設入居者生活介護等)</li> </ul>
A-11 「支援経過」		
Q7-11	・「どのくらいの（どの部分の）支援経過を提出すればよいのか？」	提出するケアプランの短期目標期間とモニタリングを実施したことが記載されている範囲で提出してください。
Q7-12	・「施設のシステム上、ケアマネ、介護、看護職員の記録が一体化されている形になっていて、ケアマネとして単独で支援経過を作成していない場合、支援経過はどのようにすればよいか？」（施設系）	<p>ケアマネジャーの行った支援内容のみを抽出してください（日々の検温状況、食事摂取量など入居者の状況についての情報は不要です）。期間は、Q7-11の通りです。</p> <p>ケアマネジャーとしての記録をされていない場合は、ご自身がケアマネジャーとして関わった部分について、たとえば、アセスメント、ケアプラン原案の作成、サービス担当者会議、サービスの調整、モニタリングなどを記入し、提出してください。</p>
8. 事例を想定し（又は借りた場合）、作成する際の注意事項		
Q8-1	A-2 アセスメント	これらの情報をもとに、演習時の事例発表、また演習シート作成（今後案内）をしていただきます。そのため、これらのシート作成に必要な情報を提供していただけてください。
	A-5 課題整理総括表	
	A-9 サービス担当者会議	*様式A-0の「チェック欄」及びA-1「備考欄」のそれぞれに「借事例」と必ず記入してください。提出が免除されません。
	A-10 評価表	